

朝鮮冠服考

金

和装本

73

1270



門7邊3
第1270
巻

朝鮮冠服の事



朝鮮の冠服は、高麗の冠服に承継し、
列宗廟よりより朝鮮の冠服と云ふは、
公服と云ふは、私服と云ふは、
私服と云ふは、あはれを以て、
朝鮮の冠服は、高麗の冠服に承継し、
列宗廟よりより朝鮮の冠服と云ふは、
公服と云ふは、私服と云ふは、
私服と云ふは、あはれを以て、
朝鮮の冠服は、高麗の冠服に承継し、
列宗廟よりより朝鮮の冠服と云ふは、
公服と云ふは、私服と云ふは、
私服と云ふは、あはれを以て、



唐鑑民服考

靴 履 屐 屨 屐 屨 屐 屨



朝鮮の禮國大典を採らるに其國冠履の
 計糸履とよあり靴履とよあり公履とよ
 つり帯履とよありとよありの冠履等其
 靴履とよありのほきき
 布鞋の小名のとく靴履とよあり別 布鞋
 の履のこし 弟等この履に金冠銀帯玉佩黒靴履
 公履とよありは布鞋の靴履のこし 布鞋
 玉靴の割とよ玉佩等 弟等は 弟等
 布鞋を長又は布鞋をいすゆのまのこし



摩羅民服



考



朝鮮信使議

朝鮮の近國大典を採らるに其國冠服の

制悉服とありあり冠服とありあり公服と

ありあり常服とありありの冠服あり其

冠服とありありの冠服あり

布帛の小事のしく別服とありあり別

のれ服ありありこの服に金冠銀帯玉佩黒靴履あり

公服とありあり布帛の別服ありありこの服に烏

玉龍等の刻と玉佩等ありあり常服とありあり

布帛とありありは物衣等ありありの冠服あり

朝鮮冠服考

朝鮮冠服考



朝鮮信使議

朝鮮の諸國大典を採むるに其國

針糸服とありあり袖振とありあり公

つり帯服とありあり冠服

帯振とありありは

布帛の小糸のこく袖振とありあり別

のれ服のこくこの服に金冠銀帯玉佩黒

公服とありありは布帛の袖振のこく

玉靴の割と玉佩等は帯服とありありは

布帛の衣又はは物衣等とありありは

子... 幕の... 代の...
尚書の... 任成の... 代の...
... 通... 凡ソ...
... 順を...
... 信... 進...
... 厚...
... 奉... 宴...
... 湯...

の... 必... 服
... 制...
... 朝...
... 韓...
... 使...
... 使...
... 使...

よこて多くくしけまし後あはるるに
そくて候しの候と候し

辛卯十一月朔日 源君美代

Handwritten text in a cursive style, likely a continuation of the letter or a separate note, with some red ink markings.

